2026年11月10日

各　位

会 社 名　　Ｈｍｃｏｍｍ株式会社
代表者名　　代表取締役社長CEO　三本　幸司
（コード：265A、東証グロース市場）
問合せ先　　取締役常務執行役員CFO　土屋　学
（TEL. 03－6550－9830）

（開示事項の経過）株式会社IPパートナーズからの事業譲受後のPMI推進および「Hmcomm CONSULTING」の本格展開について

～コンサルティングとAI・システム開発の連携により、課題整理から実装・定着までの支援を拡大～

Ｈｍｃｏｍｍ株式会社（以下「当社」）は、2025年2月28日付「株式会社IPパートナーズからの一部事業譲受に関するお知らせ」で公表したITコンサルティング事業の譲受後の統合(PMI:Post-Merger Integration)の一環として、「Hmcomm CONSULTING」の営業展開を強化し、当社グループのAI技術・開発力を活かした支援領域の拡充を進めますので、下記のとおりお知らせいたします。

本取り組みでは、承継したコンサルティングの知見・ノウハウと当社のAI技術、連結子会社コラボテクノ株式会社の開発力を組み合わせ、顧客の課題整理からAI・システムの開発・導入、運用改善までを一体で支援する体制の構築を進めます。

記

1. 事業譲受の目的と今回の位置付け

当社は、IPパートナーズからの事業譲受にあたり、高度なコンサルティング人材の強化、AIプロダクトの組成・製品化の推進、新たな業界・顧客の開拓、およびAIソリューション事業との相乗効果の創出を目的として掲げました。

なお、譲受事業は、譲受以降、黒字で推移しております。2026年12月期第２四半期累計期間（2026年１月～６月）においても、営業利益ベースでは黒字を維持し、のれん償却費控除前の営業利益ベースでは前年同期（2025年１月～６月）を上回る水準で推移しております。

なお、当該営業利益は、譲受事業に直接帰属する売上高および費用から、配賦後の本社共通費およびのれん償却額を控除して算定しており、のれん償却費控除前の営業利益は、これにのれん償却額を加算して算定しております。

今回の取り組みは、承継したコンサルティング基盤を活かし、AI・DXに関する相談から具体的な開発・導入案件につなげるための営業活動と、グループ内の連携を強化するものです。提供サービスや支援事例を紹介する専用Webサイトを公開し、顧客との接点を拡大するとともに、業務改革とAI活用を組み合わせた提案を進めます。

2.「Hmcomm CONSULTING」の提供領域

「課題の見極めから、成果が出るまで伴走する」を掲げ、次の3領域を中心に支援を展開します。

(1) 業務改革・システム刷新

業務分析、システム刷新計画、プロジェクト推進、コスト構造の見直し、運用定着・内製化を支援します。

(2) データ・AI・先端技術活用

業務課題を整理し、データ分析やAI活用の企画、実証、導入に向けた支援を行います。

(3) 経営・事業戦略および新規事業

経営課題の整理、新規事業の企画・推進、商品・営業戦略の策定、人材育成を支援します。

3. グループ連携による AI 実装・FDE 型支援の展開方針

今後、当社のコンサルティング人材とコラボテクノのエンジニアが案件ごとにチームを組み、顧客の業務課題と成果目標を共有しながら、業務設計、開発・導入、効果検証、運用改善を進める体制の構築に取り組みます。

コンサルタントによる業務分析・施策の設計と、エンジニアによる開発・実装を組み合わせ、顧客の現場で検証と改善を繰り返す FDE（Forward Deployed Engineer）型の支援へ発展させる方針です。

また、Voice AI Agent Platform（以下、VAAP）の活用や AI 駆動開発を組み合わせ、業務に適した AI エージェントの導入と、導入後の運用改善・機能拡張を支援します。これにより、コンサルティングから AI・システム導入、継続的な運用支援へと顧客との取引を広げ、グループとしての案件獲得力の強化と収益機会の拡大を目指します。

4. 関連する取り組み　DNP コアライズとの実証

業務設計と AI 実装を組み合わせた当社の関連する取り組みとして、2026 年 9 月 15 日に、株式会社 DNP コアライズと連携したハイブリッド型コンタクトセンターの実証計画を公表しています。

公表時の計画では、2026 年 10 月から 11 月にかけて、ハイブリッド型総合書店「honto」の問い合わせ窓口を対象に、VAAP を基盤とする AI エージェントによる応対と、対話情報を有人オペレーターへ引き継ぐ運用を検証し、2027 年 4 月のサービス提供を目指しています。

当社の音声 AI 技術と DNP コアライズの BPO 業務設計・運用ノウハウを組み合わせ、AI による応対の完結率・正答率や引き継ぎ精度などを評価することで、応対品質と業務効率を両立する運用モデルの確立を目指すものです。

参考：2026 年 9 月 15 日公表「Ｈｍｃｏｍｍ、株式会社 DNP コアライズと連携し、AI と有人オペレーターが連携する『ハイブリッド型コンタクトセンター』の実証を開始」

5. 専用 Web サイトの概要

名称　「Hmcomm CONSULTING」

公開日　2026 年 11 月 10 日

URL　https://consulting.hmcom.co.jp/

提供サービス、支援事例、支援の進め方を紹介し、企業からの相談を受け付けます。

6. 今後の見通し

当社は、「Hmcomm CONSULTING」を通じた顧客接点の拡大と、当社グループの AI 技術・開発力を活かした支援領域の拡充を進めてまいります。コンサルティング案件の獲得に加え、AI サービスの導入や導入後の運用改善につなげることで、譲受事業の収益性の向上を図り、中長期的な事業成長と企業価値の向上を目指します。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以　上